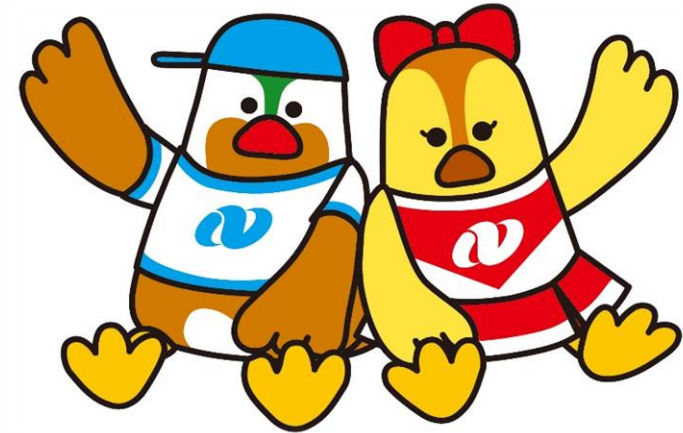
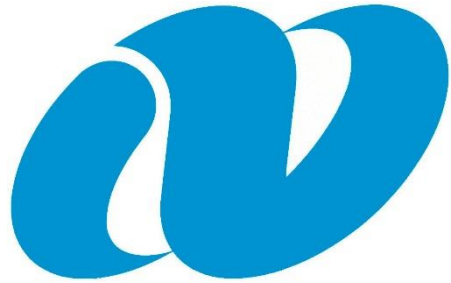


豊かに育て ながさきの子どもたち

(長崎県教育大綱)



大綱策定の趣旨

人口減少や少子高齢化の急速な進行、グローバル化や情報化の進展、I o Tや人工知能などの革新的な技術の登場など、本県を取り巻く環境は刻々と大きく変化しています。

このような変化の激しい社会の中で、確かな学力とグローバルな視野を身に付け、自らの個性と能力を十分に発揮しながら、新たな価値を創造するとともに、ふるさとを愛し、人と人とのつながりを大切にしながら、長崎の産業や地域を支えることができる人材の育成を目指し、「長崎県教育大綱」を策定しました。

大綱の位置付け

- 教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき策定します。
- 本大綱では、本県の教育、学術及び文化等の振興に関する基本的な方針を定めています。
- 本県では、「豊かに育て ながさきの子どもたち」を教育大綱といたします。
- 本大綱の期間は、平成31(2019)から平成35(2023)年度までとします。

平成30年11月
長崎県

～ 長崎県教育の推進のための6つの柱 ～

1 ふるさと長崎への愛着と誇りを持ち、地域社会や産業を支える人材を育てます。

本県の美しい自然、先人が築き上げてきた歴史や文化、長崎だからこそ得られる豊かな暮らしなど、ふるさと長崎の魅力を実感し、愛着と誇りを持ちながら、さらに継承発展させようとする意欲や態度を育みます。

また、将来にわたり活力ある長崎県を実現するために、ふるさとを想い、地域に根ざして活躍する人材を育成します。

2 確かな学力を身に付け、自らの能力を充分に発揮できる人材を育てます。

基本的な知識や技能を着実に身に付けるとともに、主体的に行動し、課題を解決していく力を持ち、能力を活かして自ら活躍の場を切り拓くことのできる人材を育成します。

幅広い教養と高い専門性を身に付ける意欲を持ち、大学などの高等教育を目指す子どもたちが、安心して学べるような環境や、社会で活躍し続けるために生涯にわたって学び続けられる環境をつくります。

3 グローバルな視野を持って、地域で行動できる人材を育てます。

グローバル化が進展し、世界の動きの地域社会に与える影響が強まる中、国際的な視野を養い、目の前の地域課題に柔軟に対応できる人材を育成します。

そのため、日本の歴史や文化を尊重し、日本人としての誇りを持って世界と向き合い、円滑なコミュニケーションを取りながら、自分の考えをしっかりと表現できる力を育みます。

4 多様な文化や価値観を持つ人々と交わりながら、豊かな創造性を発揮する人材を育てます。

AI・IoTなどの技術革新の急速な進展により、社会のあり方が大きく変わろうとしている中、従来の考え方の枠にとどまらず、チャレンジ精神を持って、多様な文化や価値観を持つ人々との対話や議論、協働の中から新しいアイデアを生み出し、社会の発展に貢献できるような人材を育成します。

5 社会性に富み、健やかでたくましい心と体を持った人材を育てます。

世代や年齢が異なるなど多様な人々と交流する経験や地域での体験活動を通じて、協調性、忍耐力、相手を思いやる心など、豊かな人間性や社会性を醸成します。

読書を通じて感性や想像力を養い、スポーツを通じて日々の活動を支える体力を養うなど、幅広い人間性と健やかな体を育みます。

6 子どもたちの心に寄り添いながら、社会全体で見守り、豊かな成長を支える環境をつくります。

すべての命を大切にすることを育むとともに、子どもたち一人ひとりの個性や特性を尊重し、それぞれの悩みや相談に対して、きめ細かな支援ができる体制をつくります。

支援の必要な子どもたちにしっかりと目を向け、家庭・学校・地域・関係機関が力を合わせて社会全体で見守り、全ての子どもたちの豊かな成長を支えていきます。